

白山の噴火シナリオ（影響範囲）の見直しについて

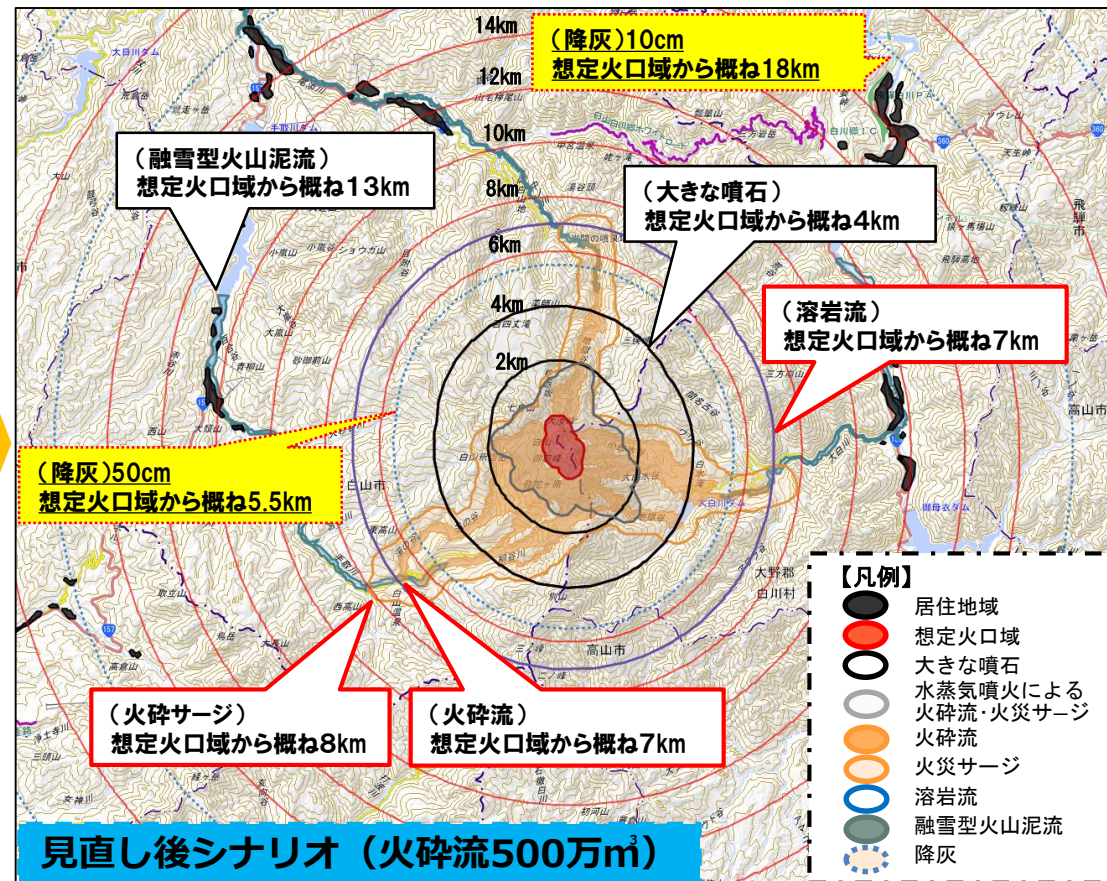
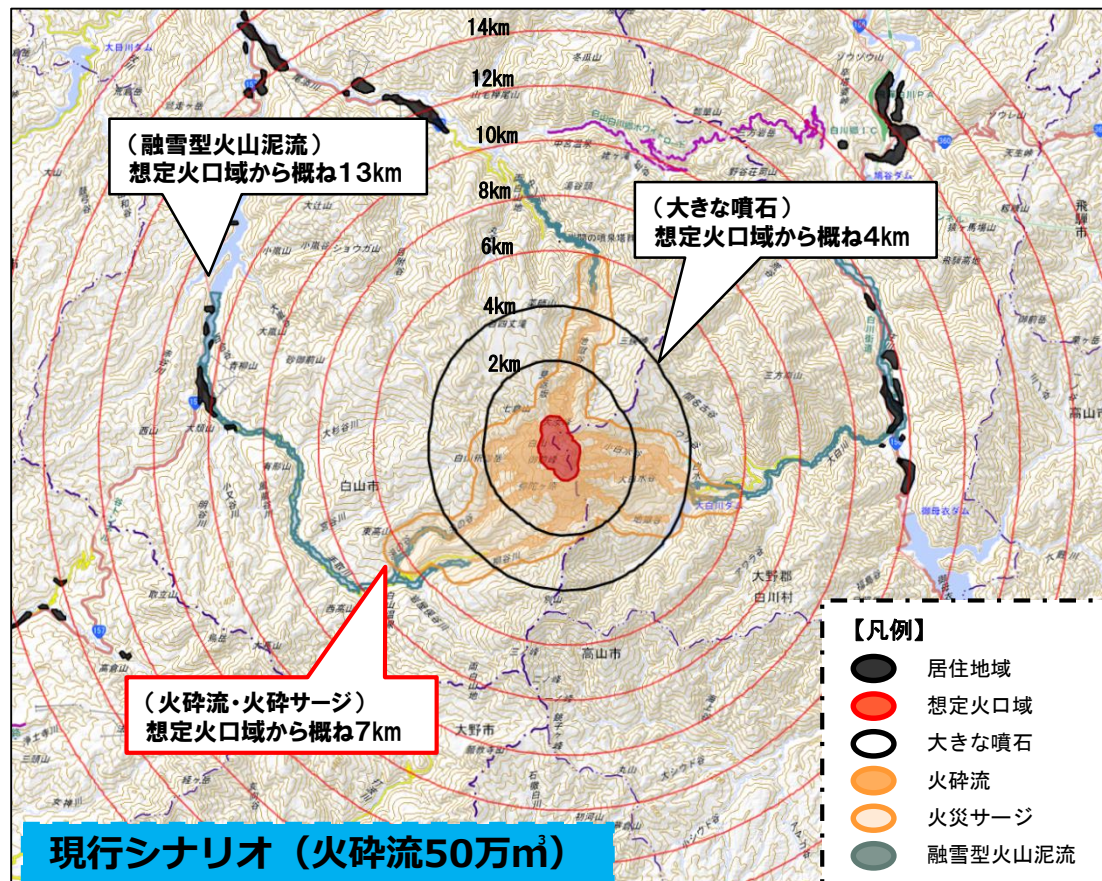
資料3-1

○白山火山防災協議会では、国のシミュレーション（小規模噴火）を基礎資料として、火山防災計画などを策定（H27.6）
 ○白山に関する調査研究により新たな知見が得られ、国では新たなシミュレーション（中規模噴火）を実施（R2.3）

【シミュレーション結果】

➢ 想定する噴火規模が拡大（火砕流50万m³→500万m³）したことに伴い、火砕流の到達域が想定火口域から概ね7 kmが概ね8 kmに広がっているものの、影響範囲に大きな変更はない。

区分	噴火発生時に想定される現象	白山噴火シナリオ（影響範囲）		【参考】噴火警戒レベル
		現行（火砕流50万m ³ ）	見直し（火砕流500万m ³ ）	
水蒸気噴火	噴石飛散	想定火口域から概ね2 km（居住地域への影響なし）	想定火口域から概ね2 kmの範囲（居住地域への影響なし）	レベル2
	火砕流・火災サージ	—	<u>想定火口域から概ね2 kmの範囲（居住地域への影響なし）</u>	
	融雪型火山泥流	—	噴火に伴う事象として記載	
	降灰	噴火に伴う事象として記載	<u>想定火口域から概ね12 kmまでは降灰厚1 cm以上</u>	
マグマ噴火	噴石飛散	想定火口域から概ね4 km（居住地域への影響なし）	想定火口域から概ね4 kmの範囲（居住地域への影響なし）	レベル3
	火砕流・火災サージ	想定火口域から概ね7 km（居住地域への影響なし）	想定火口域から概ね <u>8 kmの範囲</u> （居住地域への影響なし）	レベル3（拡大）
	溶岩流	想定火口域から概ね7 km（居住地域への影響なし）	想定火口域から概ね7 kmの範囲（居住地域への影響なし）	
	融雪型火山泥流	想定火口域から概ね13 km	想定火口域から概ね13 km（谷筋）の範囲（一部流域では概ね19 kmまでの河川内）	レベル4 レベル5
	降灰	噴火に伴う事象として記載	<u>想定火口域から概ね37 kmまでは降灰厚1 cm以上</u>	—



- 噴火に伴う事象**
- **噴石飛散**
火口付近の岩石や空中で冷えて固まったマグマが砕けて飛散する現象
 - **火砕流・火災サージ**
高熱の岩石や破片や、火山灰と空気が混ざった高熱の爆風などが急速に山腹を流下する現象
 - **溶岩流**
高温で溶けた溶岩が斜面を流下する現象
 - **融雪型火山泥流**
噴火に伴い火口周辺の積雪が溶けて噴出物や周囲の土砂、木などを巻き込んで流下する現象
 - **降灰**
マグマや噴石が細かく砕けて降り積もる現象